

令和4年度 磐田市立豊浜小学校 学校評価書

◆学校教育目標(はまぼう学府教育目標)…「互いを認め 未来をともに創る子」

◆重点目標…知「学び合う」 徳「認め合う」 体「鍛え合う」

重点	目標・取組	評価指標	評価	○考察 ※改善策	学校関係者評価委員から
関「わいわい合った」学びを続ける子	○学びを「自分ごと」として捉え、基礎的な学力をつける ・豊浜定着テストやミニテストの実施 ・家庭学習の充実	授業の内容がよく分かる： 90% (学校評価：児童・保護者・教職員)	A	○児童との差はあるものの、全体的に三者の評価が高い傾向にある。特に「地域の人たちと学校の関わり」については、今年度は感染症対策を行いながら、「豊浜ふるさと学習」として地域の方々との関わりの中で体験学習を実施できたことが評価につながっていることが分かる。 ※今後も感染症対策を行いながら可能な体験活動を実施し、地域への関心を深めていく。 ※基本的な学習の定着が図れるよう、豊浜小独自の定着テストや豊浜ベーシック授業による授業改善を継続するとともに、授業の振り返りを大切にする。子どもたちが「分かった」「できた」を実感できるよう価値づけも行っていく。	・全てにおいて80%以上と高い評価は素晴らしいと思う。特に、「学校が楽しい」ということは、親として安心できます。 ・子どもたちは、全体的に自己肯定感が高く良いことだと思う。しかし、中学校、高校になってからも継続できるかが心配。 ・「授業内容が分かる」「自分の考えを伝える」ことに差がある。自己との向き合いが必要ではないか。
	○仲間とともに学び合い、主体的・対話的で深い学びをする。 ・豊浜ベーシック授業による授業改善	自分の考えを友達に分かりやすく伝えたり、相手の考えを聞いたりしている：85% (学校評価：児童・保護者・教職員)	B	○「自ら進んで学習する」「自分の考えを伝える」項目については、児童と保護者の評価に差がある。一人一台端末の活用やコミュニケーショントレーニングの継続的な実施により子どもたちは楽しさを実感しているが、自分事として学ぶ姿をより望む保護者も一定数いることが分かる。 ※学習したことや分かったことなどを保護者に伝えたり、家庭と連携し家庭学習を実施したりするなどし、学習の習慣づけにも取り組んでいく。	・外国語活動への評価が高いのは、将来的な英語学習に向けての興味付けへの成果が出ているのだと思う。今後、必要な力になると思うので積極的に行ってほしい。 ・学習面での保護者の不安が見られる。学習習慣を身に付ける手立ての具体的な課題を検討してほしい。 ・一人一台端末の使用状況を学校側がどこまで把握できるか。問題は無いのか。
自分や友達を大切に、協力する子	相手も自分も大切にし、主体的に取り組む。 ・主体的な活動ができるように任せて認める指導を行う。	自分にはよいところがあると思う：85% (学校評価：児童・保護者・教職員)	A	○どの項目についても全体的に高い評価が出ている。地域や家庭に支えられ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができている。 ○互いのよさを言葉で伝える「いいとこ見つけ」の効果が自己肯定感が高まってきている。 ※互いのよさだけでなく、自分のよさについても実感できるように、任せて伸ばす指導や、よさの価値づけ等、継続の仕方を工夫していく。	・豊浜の地域に誇りをもっている子や学校が楽しいと思っている子どもたちが多くうれしく思う。 ・「豊浜夢プロジェクト」は子どもたちに良い経験や刺激になったと思う。HPを見ながら子どもが様子や感想を伝えてくれた。
	場面に応じたり、多様性を認めたりするコミュニケーション能力を身に付ける。 ・異年齢集団、外部の方と積極的なコミュニケーションを取れる場を設定する	場に応じて言葉の使い分けができる：80% (学校評価：児童・保護者・教職員)	B	○場に応じた言葉の使い分けについては、保護者、教職員の評価が低い。 ※あいさつ、言葉づかいについては、家庭との連携も必要である。また、縦割りグループでの遊びや外部の方との交流を意図的に実施し、互いを認め合う活動や声掛けを行う。HP等で学校の様子を伝え、家庭や地域との連携を図る。	・言葉づかいに関しては、大人でも難しいこと。家庭の影響もあると思うので大人の意識も大事。家庭と地域とも連携し目上の人への話し方も身に付けてほしい。 ・健康10カ条は意識できている。子どもたちが自分の健康に関心をもってほしい。
自ら考え行動する子	目標に向かって友達と競い合いながら進んで運動し、体を鍛える。	運動や行事などに、自分の目標をもって最後まで取り組んでいる：90% (学校評価：児童・保護者・教職員)	A	○ボール投げや運動会については、目標を立てて実践し、評価を行うことで、自分の伸びを感じることができ達成感に繋がった。また、今年度は豊浜夢プロジェクトとして、地域やプロの方を講師として招き交流することで、より児童の意欲が高まった。 ※学習カードを使用する際には、自分の課題を捉えたり、振り返ったりすることで学びにつなげていくよう意識する。	・学校の様子はHPや学校公開でよく分かる。HPの更新が頻繁なので家庭でも話題に上がり高評価につながっていると思う。 ・子どもたちは中学校の生活を楽しみしているが、小中一貫教育のよさについて保護者の評価が低いことが心配。自分の子どもことであるのに保護者の評価が低いのは、保護者自身も勉強する必要があると感じる。
	自分の健康について関心を持ち、良好な生活習慣を身に付ける。	健康10カ条を意識して生活している：90% (学校評価：児童・保護者・教職員)	B	○毎月の保健指導から、健康への意識が高まっている。レジリエンスも少しずつ理解が深まっている様子がある。 ※来年度は健康5カ条とし、より重点化して行っていく。今後も家庭と連携して健康教育を進められるようにしていく。	・少子高齢化が進み豊浜地区は厳しい状況にある。豊浜サポーターとして旗当番等、地域のためにできることは、まだまだあると思うので、できる限り協力していきたい。
学信校頼づさくれる	一人一人を大切にされた教育支援を行うことで、誰もが安心し、自信をもって行動できる	・学校が楽しい：95% ・子どものことを理解して指導にあたっている：95% (学校評価：児童・保護者・教職員)	A	○どの項目も三者から高い評価となった。本校の教育活動に対して保護者の理解が得られていることが分かる。 ※今後も学校公開(参観会・行事等)、家庭との結びつき(懇談会、面談、日頃の連絡)、ホームページを通して、学校と家庭、地域が連携して学校目標の具現化を図る。 ※さらに豊浜のよさを生かした学校教育活動が充実するように、コミュニティー・スクール・コーディネーターとの連携も大切にしていく。	・今後も児童数が減少する中で、少人数だからこそ可能なきめ細かな授業をお願いしたい。反面、教員の業務負担が心配。

学校関係者評価を受けてのまとめ

- ・地域や家庭から支えられている学校であることが分かる。学校評価の結果や学校運営協議会の結果を受け、学校・家庭・地域の連携を大切にし、さらなる充実を図る。
- ・小中一貫教育の推進に向け、児童、家庭、地域の声を大切にし、目的や取組みについての情報を共有したりし、理解を深めていく。
- ・小規模校のよさを生かした教育活動ができるよう、学校・家庭・地域が「ファミリー豊浜」として機能していく。